

第13回松浦市民駅伝大会 西日本プラント工業(株)3連覇!

第13回松浦市民駅伝大会が2月25日、御厨町のじげもん市場前をスタートし、今福小学校入口をゴールとする8区間、23.6キロのコースで行われました。大会には、一般の部に40チーム、高校の部に1チーム、中学の部に6チームが参加。選手たちは、沿道からの声援を受けながら健脚を競いました。上位の結果は次のとおりです(敬称略)。 ※赤字は区間新記録。



区間	選手名(所属)	記録
〔一般の部〕		
〈総合成績〉		
①	西日本プラント工業(株)	1時間26分27秒
②	松浦消防A	1時間27分28秒
③	JPOWERクルーPA	1時間29分16秒
④	九州電力松浦発電所	1時間30分20秒
⑤	ピンキーズ	1時間30分32秒
⑥	中興化成工業(株)	1時間30分41秒
〈区間賞〉		
1区(3.3キロ)	黒田龍之介(JAながさき西海)	10分28秒
2区(3.8キロ)	倉山侑也(九州電力松浦発電所)	12分27秒
3区(3.7キロ)	永尾幸大(なかよし駅伝部)	12分22秒
4区(3.2キロ)	香林亮栄(オングィモンギ)	10分36秒
5区(3.4キロ)	白石海斗(今福PTCABチーム)	10分23秒
6区(1.9キロ)	吉田裕希(ピンキーズ)	7分18秒
7区(2.8キロ)	渡邊裕哉(西日本プラント工業(株))	10分22秒
8区(1.5キロ)	川上悠馬(松浦消防A)	5分19秒
※女子の部		
4区(3.2キロ)	白石夕貴(今福PTCABチーム)	13分54秒
〔高校の部〕		
〈総合成績〉		
①	松浦高校野球部	1時間27分21秒
〔中学の部〕		
〈総合成績〉		
①	志佐中学校1・2年	1時間24分09秒
②	志佐中学校3年	1時間26分39秒
③	今福中学校	1時間31分48秒
〈区間賞〉		
1区(3.3キロ)	吉浦明希(志佐中学校1・2年)	11分21秒
2区(3.8キロ)	池田隆聖(志佐中学校3年)	12分45秒
3区(3.7キロ)	吉浦悠(志佐中学校1・2年)	12分05秒
4区(3.2キロ)	大畑駿泰(志佐中学校3年)	11分46秒
5区(3.4キロ)	小西勇雅(志佐中学校1・2年)	11分42秒
6区(1.9キロ)	山下主翔(志佐中学校3年)	7分13秒
7区(2.8キロ)	谷川侑哉(志佐中学校3年)	10分15秒
8区(1.5キロ)	吉田晴陽(志佐中学校3年)	5分19秒

★**躍進賞**(松浦市陸上競技協会表彰)
九州電力松浦発電所
前年記録より8分54秒短縮



感謝状を贈呈

第13回松浦市民駅伝大会が昭和44年1月15日に開催されました。一般8チーム、高校7チームが参加。今福町松浦園芸高校(現在東部工業団地)をスタートし、御厨町西木場を降り返して松浦市民会館(現在松浦市生涯学習センター)をゴールとする6区間(28.9キロ)のコースでした。

今では、伝統ある大会の1つに成長し、今大会で節目となる新旧通算50回目を迎えました。そこで、49回目の最多出場をされた中興化成工業(株)チームへ感謝状を贈呈しました。

2つの日本学童新記録樹立！

太田 紗彩さん



第38回九州カップ水泳競技大会が2月3・4日の両日、福岡市立総合西市民プールで開催され、志佐小学校6年の太田紗彩さんが女子200mバタフライで、2分13秒62の短水路日本学童新記録を樹立しました。

短水路は、25mプールを使用して行われる水泳競技会を指し、50mプールは長水路と呼ばれます。泳ぐ距離は同じでもターンの回数などが変わるため、記録は分けて管理されます。

太田さんは、昨年12月に開催された大会で短水路日本学童新記録を打ち立てた後、短期間のうちに自己記録を2度更新するという快挙を成し遂げました。

2月23日、第38回九州カップ水泳競技大会での成績報告のため、家族とともに市役所を訪れました。自身の記録を更新できた理由を尋ねられ、「記録を出せたのは練習を頑張った成果。練習はきつけれど、水泳を辞めたいと思ったことはありません。泳ぐことは楽しいし、バタフライは空を飛んでいるような感覚になれます。次の大会でも良い記録が出せるよう頑張ります」と笑顔で答えてくれました。

【200mバタフライ】
○短水路

大会名	樹立日	記録
第229回みんなの学童水泳記録会	平成29年12月10日	2分14秒58
第40回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会長崎県予選会	平成30年1月21日	2分14秒55
第38回九州カップ水泳競技大会	平成30年2月3日	2分13秒62

○長水路

大会名	樹立日	記録
第13回長崎県春季招待水泳公認記録会	平成30年2月25日	2分16秒58

さらに、2月24・25日の両日に開催された第13回長崎県春季招待水泳公認記録会において、女子200mバタフライで2分16秒58の長水路日本学童新記録を出し、短水路と長水路での日本学童新記録保持者となりました。

現在進行形で成長を続ける太田さんのさらなる活躍が期待されます。

長崎県立松浦高等学校陸上競技部

平成29年度長崎県高等学校新人体育大会新人駅伝競走大会 優勝！

2月10日に諫早市で開催された平成29年度長崎県高等学校新人体育大会新人駅伝競走大会で優勝した松浦高校陸上競技部が、校長、監督、顧問とともに2月19日、市役所を訪問しました。

澤田監督は、「この県新人駅伝では初めての優勝であり、故障者やインフルエンザの発症による学級閉鎖など、万全の状態ではない中で優勝を果たせたことは、チームの自信に繋がった。部員は9人と少ないが、今大会でも『全員区間賞を狙っていけ』と言えるほど、チーム力も個々の力も高まっている。4月に新入生も加わると思うので、さらにチームを成長させて都大路を目指したい」と話し、主将の白石大以夢さんは、「一人ひとりが頑張っていて、11月の高校駅伝大会できちんと役割を果たせるよう努力したい」と抱負を語り、部員たちも次の大会への意気込みを語ってくれました。

3月11日には、九州沖縄各県の強豪校が出演する男子第28回阿久根市長旗九州選抜高校駅伝大会に出場しました。今回は表彰台を逃し、惜しくも9位でしたが、部員たちはすでに次の目標に向けて動き出しています。

全国高等学校駅伝競走大会の舞台である京都・都大路への6年ぶり2度目の出場を懸けて、チーム一丸となって日々練習に励んでいます。

